報告書

第一回 行政輸出塾 in 沖縄（7/23）

株式会社プロダクツ・プラニング
株式会社Aglin

第一回 行政輸出塾 in 沖縄（7/23）
「県内輸出支援機関×GFP沖縄にて実現できる輸出支援」

- **イントロダクション（GFP沖縄事務局）**
  - GFP沖縄の取組紹介
  - 本輸出塾の主旨と進め方
  - 県内輸出事業者への支援ニーズに関する調査結果の共有
- **ワークショップ（各グループ）**
  - テーマ：県内輸出支援機関×GFP沖縄にて実現できる輸出支援
  - 進め方(別途参照)

行政輸出塾のゴール

輸出支援マップの作成・公表（2023年度）

合同相談会の実施・各取組のシェア（2024年度）

GFPに求められていること

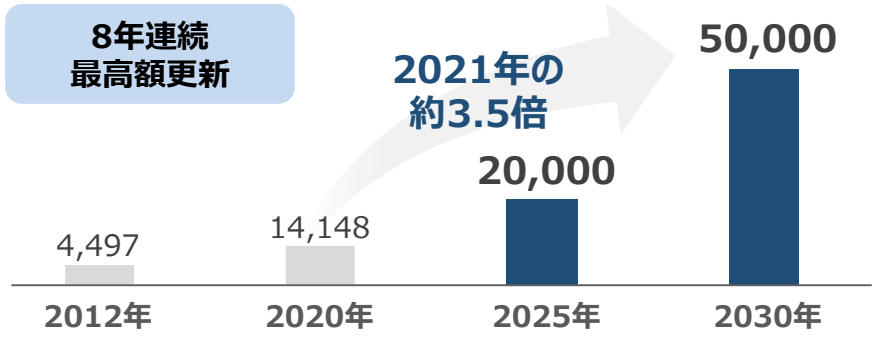
輸出産地形成に向けた「輸出拡大実行戦略」からの要請

2030年:輸出額5兆円の達成に向けて、重点品目・輸出産地毎の輸出事業計画策定が要請。GFPにおいては、オールジャパンでマーケットインの発想での輸出にチャレンジする輸出産地等の後押し・取組や現場レベルに応じた伴走支援の強化が重要。

基本的な考え方

- 「プロダクトアウト」から「マーケットイン」への転換
- 29重点品目・1,203輸出産地毎の輸出事業計画策定
- 省庁の垣根を超え、政府一体での輸出の障害克服

輸出目標の設定（単位：億円）



輸出産地・GFPへの要請

官民一体となった海外販売力の強化

- **輸出産地間の連携**などを通じて、ターゲット国・地域に係る情報収集、販売戦略づくり、ブランディング、商談・販路開拓支援、現地の商流との連携強化などに取組む
- 品目団体等の財源の確保、ジャパンブランドと地域ブランドの使い分けなど、具体的な方法を検討

GFPを通じた輸出産地育成

- GFPを通じて、**新たな技術を導入した輸出産地**の育成

マーケットインでの輸出産地育成・展開

- 輸出にチャレンジする事業者や産地に対する輸出先国・地域の**規制やニーズの情報提供**
- 輸出産地の形成に必要な**施設整備**等を重点支援
- 水田を転換した園地や畑地を活用し、**果樹**や**野菜等高収益作物**の輸出産地の育成・展開

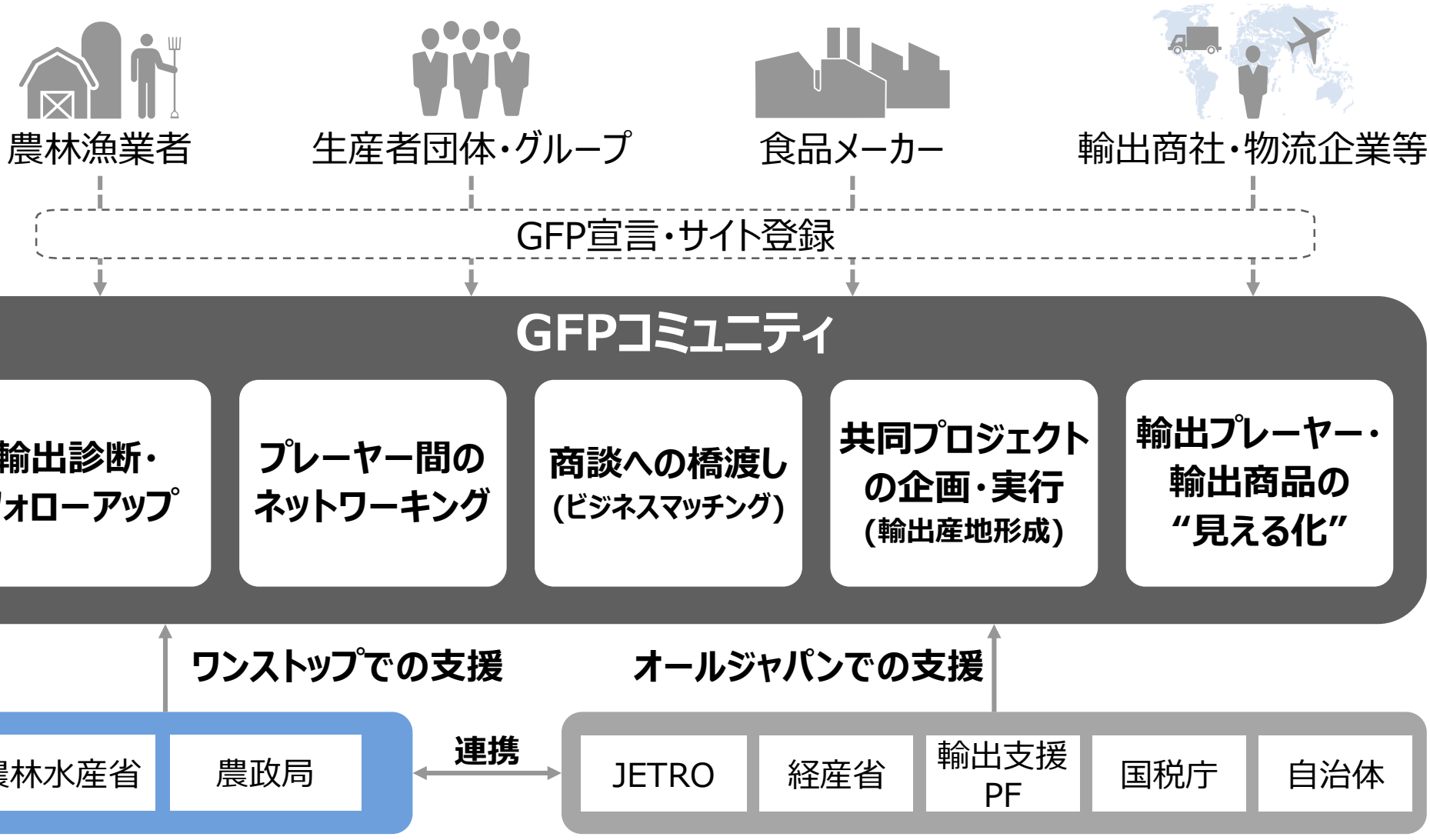
多様化する輸出産地等へのサポートや、輸出スタートアップの掘り起こしのため、地方農政局や都道府県段階で現場で密着したサポート体制を強化

出所：輸出拡大実行戦略

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFPの取組全体像

GFPメンバー間のマッチング・コラボレーション創出・きめ細かなフォローアップ/伴走支援に重きを置くことで、JETRO等既存の支援サービスとの差別化を重視。



Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFPが守るべき価値観　~5C

ロ “革新的”な取組へのチャレンジ
（Innovative Challenge）

ロ メンバー間の”ネットワーキング・コラボレーション”
（Collaboration & Communication）

ロ ”選択と集中“によるきめ細やかで能動的なサポート
（Choice & Concentration）

陥りがちな罠

- イベントの規模重視・“ありきたり”なプログラム構成
- 受動的で定型的な事業者サポート・事業者の満足度低下
- メンバー間の交流の希薄化・輸出に対する機運の低下
- マッチング参加者との事前調整不足・マッチング精度の低下

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

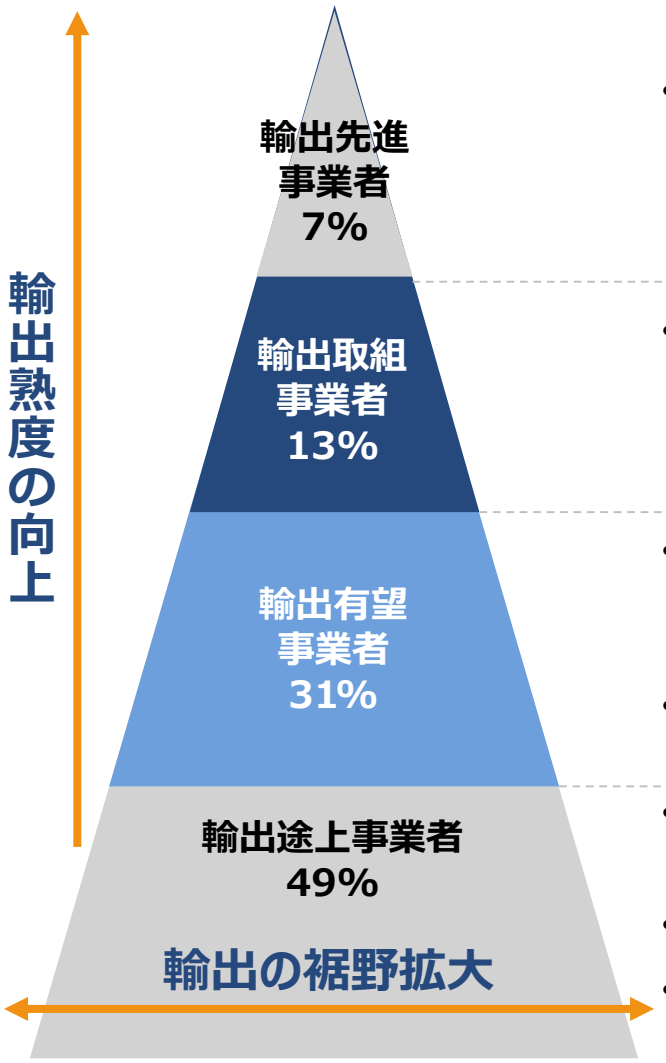
GFPが“できること”

国内外9,000社のコミュニティを生かした、コラボレーション創出・輸出チームづくり・各種機関と連携した輸出関連情報・成功事例発信等を実施。

コラボレーション・マッチング	• 課題に応じた多様なビジネスパートナー(輸出専門家)のマッチング • 交流会等でのGFPメンバーとの出会い（オンライン/オフライン） • 商社・海外バイヤーからのニーズに応じたサプライヤーの紹介
輸出チームづくり・伴走支援	• レベルアップコース等を通じた商社・コンサルを巻き込んだ輸出チーム作り ➢ 通年での伴走支援→出口につながる輸出実証を実施 • 農水省・自治体等の輸出支援機関との連携推進(県庁事業との横連携含む)
最新情報・輸出事例・補助事業等発信	• メールマガジン・SNS・Youtube等を通じた多面的な輸出関連情報の発信 ➢ イベント・予算情報・補助事業等 • セミナーで最新の輸出トレンド・海外情報・輸出成功事例を発信・横展開

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFP改善に向けた現時点仮説　~事業者の熟度に応じた支援メニュー



	【計画】ネットワーキング・知見共有	【実行】商談・テスト輸出
輸出先進事業者 7%	• **ポテンシャル国向けセミナー**：単独では開拓が難しいポテンシャル国(中東等)の販路開拓に向けたセミナー	• **輸出実証/物流実証**：輸出拡大に向けたチャレンジに対する輸送費支援 • **補助活用サポート**：活用できる補助事業の紹介・申請サポート
輸出取組事業者 13%	• **ビジネスパートナーマッチング**：個別課題解消に資する領域別専門家とのマッチング（輸出規制・プロモーション等）	• **商談会**：販路開拓に資する強い商社・海外バイヤーとのマッチング • **インターン**：人出不足を解消できる学生/BtoBインターン受け入れ
輸出有望事業者 31%	• **重点支援事業者勉強会**：実践的な輸出知識習得・商社/バイヤーとのマッチング • **BPマッチング**：伴走支援可能な商社・コンサルとのマッチング	• **輸出実証**：商社と連携した新規輸出を後押しし、早目の成功体験
輸出途上事業者 49%	• **輸出ベンチャー塾**：地域別での輸出ベンチャーの掘起し・共同取組企画 • **セミナー・交流会**：先進事例共有 • **合同訪問診断**：関係機関とのネットワーク	-

輸出事業計画のPDCAサイクル回し・課題に応じた支援が横串のテーマ

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

これまでの取組

事業の全体像　~"GFP沖縄"の立上（2023年）

Plan

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり・輸出実証を促し、持続的な輸出拡大に結びつける。



はじめての輸出体験を"輸出スタートアップハブ"
GFP沖縄

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こし

- ベンチャー・スタートアップ　イベント勧誘
- 輸出産地　イベント勧誘

輸出チームづくり

輸出事業計画PDCA

商社・バイヤー

参加

GFP沖縄サミット in 本島・離島（セミナー・交流会）

- 本島エリア：浦添
- 離島エリア：石垣島・宮古島

連携

企画反映

行政機関

行政若手輸出塾

チームづくり・議論踏まえたトライアル実証

沖縄県付加価値事業

GFP産品輸出実証

那覇空港・離島からの輸出に向けたトライアル実証

- オイシックスと連携した沖縄の特色を活かしたEC販売

ノウハウ連携・デマケ

沖縄県PR事業・農林事業

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC.　Aglin. INC　All rights reserved.

GFP沖縄での新規取組（1/3）

Do

GFP沖縄の状況

- **GFP沖縄登録者は約160社**(※)に到達しており、本事業においては県内事業者の掘り起こし・出口づくり等を実施した結果、**2023年4月以降で43事業者の新規登録**が行われ、うち**GFP継続活用率も約7割**と多くのメンバーをGFP活動に参画・誘導することができた

具体的な取組

- **GFP沖縄サミットの開催での掘り起こし・イベントフォローアップの導線づくり（早期の輸出実現）**
  - イベント開催後に、掘り起こした事業者を対象に①オイシックス・ラ・大地と連携した香港への輸出実証（第一弾12商品出展）及び②沖縄大交易会への出展（10事業者出展・51関連事業者訪問）、③沖縄県事業実証への誘導（12商品輸出）等を通じて、早期の輸出実現に寄与
- **行政若手輸出塾の開講（輸出支援機関の連携）**
  - 沖縄県や中小機構等の輸出支援機関を巻き込むことで、①農薬規制等のフォローアップ（うりずんファームの情報連携 with中小機構）、②インドでの泡盛商談フェア（酒類輸出商社Japonteの紹介 with国税事務所）、③他事業活用の輸出実証（GFP沖縄産品の輸出紹介with沖縄県)等を実現することができた
- **GFP沖縄LINEの発足（情報発信機能の強化）**
  - 2024年3月段階で70登録がなされ、県内輸出関連イベント・輸出実証・補助事業紹介等を2～3通/週程度発信。個別チャットを通じ、事務局に相談可能な体制も確立され、情報収集基盤を構築できた
- **重点課題の関係者検討**
  - 沖縄県内の輸出事情を踏まえ、①沖縄国際物流ハブの活用に向けた物流検討会（GFP沖縄×GFP鹿児島連携）及び②畜産検討会（石垣島の畜産事業者間）を実施。特に畜産検討会では参加事業者（八重山食肉センター×池田冷凍食品）がマッチングし、2024年2月にタイにて共同営業を実施

※2024年3月時点のGFP管理簿情報より

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFP沖縄での新規取組（2/3）

Do

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり、輸出実証を実施し、持続的な輸出拡大に結びつける。

GFP沖縄の取組

GFP沖縄発足（2023年6月～）





- 「輸出スタートアップハブ」をテーマにしたGFP沖縄を発足し、メディア・輸出支援機関等と連携しながら発足を周知
- 継続的な伴走支援を通じて、出口を見据えた商社・海外バイヤーとのマッチング等を実施

GFP輸出スタートアップ沖縄サミット（2023年7月）





- 第一弾のキックオフ＆マッチングイベントとして、7月27日に沖縄本島(浦添市)を実施
- スタートアップ戦略会議として、未来の沖縄からの輸出づくりについて検討。初心者向けのグループマッチングも実施

離島開催（2023年11月）



- 離島からの輸出促進(物流体制構築・地域産品の輸出強化)を目的に、宮古島・石垣島にてイベント開催
- また有力EC事業者の招致・チャレンジ実証を通じて、持続的な輸出拡大にまで繋げる

有力商社招致・フォローアップ

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFP沖縄での新規取組（3/3）

Do

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり、輸出実証を実施し、持続的な輸出拡大に結びつける。

GFP輸出スタートアップ沖縄サミット

第一部
スタートアップ戦略会議

県内のベンチャー事業者を対象に、
沖縄からの未来の輸出戦略を検討





第二部
キックオフセミナー

輸出×沖縄ならではのテーマを軸に
輸出ビジネス事例を紹介(観光やSDGs等)





第三部
試食交流会・マッチング

沖縄県産品の試食紹介及び、
グループ・個別マッチングを実施





Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

オイシックス香港実証　～実証概要

イベント直後のフォローアップの一環として、オイシックス社と連携した輸出実証を実施。GFP沖縄会員を中心に第一弾24品、第二弾20品、合計44品エントリー。

実施概要

実施方法

- オイシックス・ラ・大地 香港
  ホームページにて特設サイトを開設
  (日本語・中国語)

対象

- GFP沖縄登録事業者

実施期間

第一弾 浦添サミットのフォロー

開催期間：
2023年12月14日(木)～12月27日(水)

申込期間：
2023年9月26日(火) ～10月10日(火)

第二弾 石垣島・宮古島サミットフォロー

開催期間：
2024年2月22日(木) ～3月6日(木)

申込期間：
2023年11月14日(火) ～11月28日(火)



日本最南端にある沖縄は、いまも昔も大人気の観光地。
そして、おいしいものがたくさん集まる、魅力のある日本の自慢の県です。
今週は、思わず沖縄旅行にいますぐいきたくなるような、
おいしい沖縄をご紹介します！



Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

オイシックス実証　～第一弾 実証ページ

沖縄の観光・食文化とともに、沖縄総合事務局からのコメントとともに消費者に紹介。具体的なメニューレシピとともに、商品の試験販売を実施した。





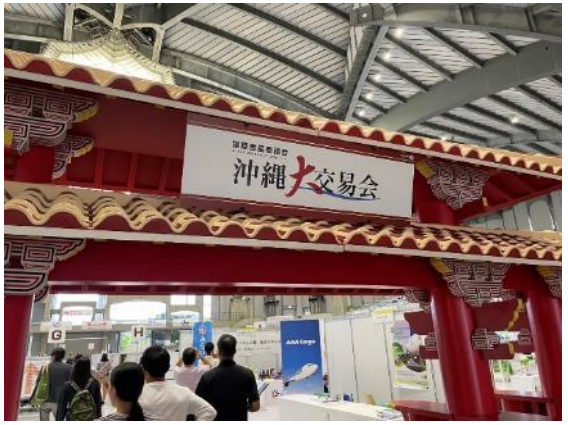


Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC.　Aglin. INC　All rights reserved.

11th沖縄大交易会2023 ～概要

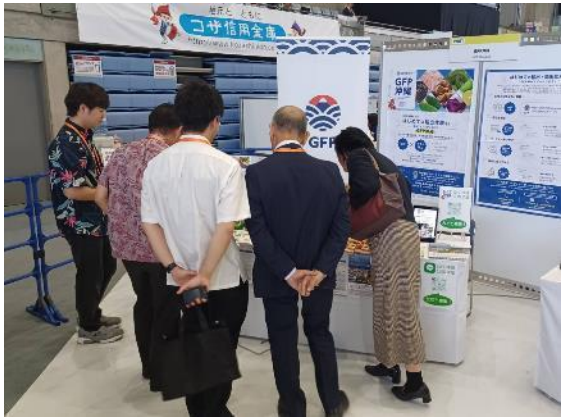
2023年11月16日～17日にかけて開催された「沖縄大交易会2023」にGFP沖縄ブースを出展。GFP会員のサンプル品展示・GFP勧誘・マッチングを実施した。











沖縄大交易会には参加事業者（196社）・商社（53社）・
海外バイヤー（80社程度：タイ・香港・台湾・中国・SG・マレーシア・ベトナム等）が参加

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

11th沖縄大交易会2023 ～展示商品

GFP沖縄ブースでは全10事業者の商品を紹介。

1. 島唐食品合同会社	万能タレ
2. ハワイアングロット	ジンジャシロップ
3. 沖縄ハム総合食品株式会社	黒酢てびち
4. 農業生産法人株式会社 仲善	クラフトコーラ・美ら島の紅茶
5. kuiko kebabu co.,Ltd	エリソース
6. 株式会社478COMPANY	シークワーサー果汁
7. 株式会社寄宮	非加熱シークワーサー果汁
8. 有限会社八重泉酒造	泡盛（島うらら）
9. 株式会社ジェイシーシー	じーまーみー豆腐
10. 宮古島芋畑	さつまいも








Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

11th沖縄大交易会2023 ～バイヤー・物流業者からの連携要望

GFP沖縄コミュニティと連携した産品収集を行い、物量確保・輸出向け加工品開発・沖縄県産食品の店舗展開等に関する提案があった。

台湾バイヤー

- 台湾に在住しており、食品を中心に輸入を行っている。沖縄県内に支社を設けて、沖縄県産品の原材料加工にも取り組んでいる
- 今後GFPにて原材料で輸出が難しい事業者の商品を加工して輸出していくことが可能。生産者・メーカーと繋がりたい

ベトナムバイヤー

- 現在、マレーシア市場に注目している。ハラルが求められる市場であるが、英語・マレー語・中国語ができるため、マレーシアをハブとして各国への産品輸出が広まると考えている
- 泡盛倉庫のように会員制のバーも流行らせたい。普段はコンビニチェーンの進出支援等を実施している

日系小売バイヤー

- 中日本・沖縄の担当を行っており、既に沖縄からも青果物の輸出を行っている
- 物量を増やしたいため、GFPと連携しながら、産地の掘り起こし・商品力向上に向けて実証に取り組みたい

物流業者

- 沖縄から輸出を促進していきたいが、特に船便での物量が集まらない
- GFPにてまずは航空便での実績を積んでいただき、輸出量を増えてきたら船を活用いただくようなスキームづくり・卸業者との連携を強化したい

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

昨年度の行政若手輸出塾での取組

これまで訪問診断にて各輸出支援機関が紹介していた情報を支援マップに集約し、支援に活用することで、常に事業者の輸出ステージに応じた支援策の提案が可能となる。

支援マップイメージ(例：GFP沖縄)



- 輸出支援機関が有している支援策・窓口を紹介
- フロー図にて、事業者が自身の輸出ステージを理解し、情報の取捨選択することが可能

対象

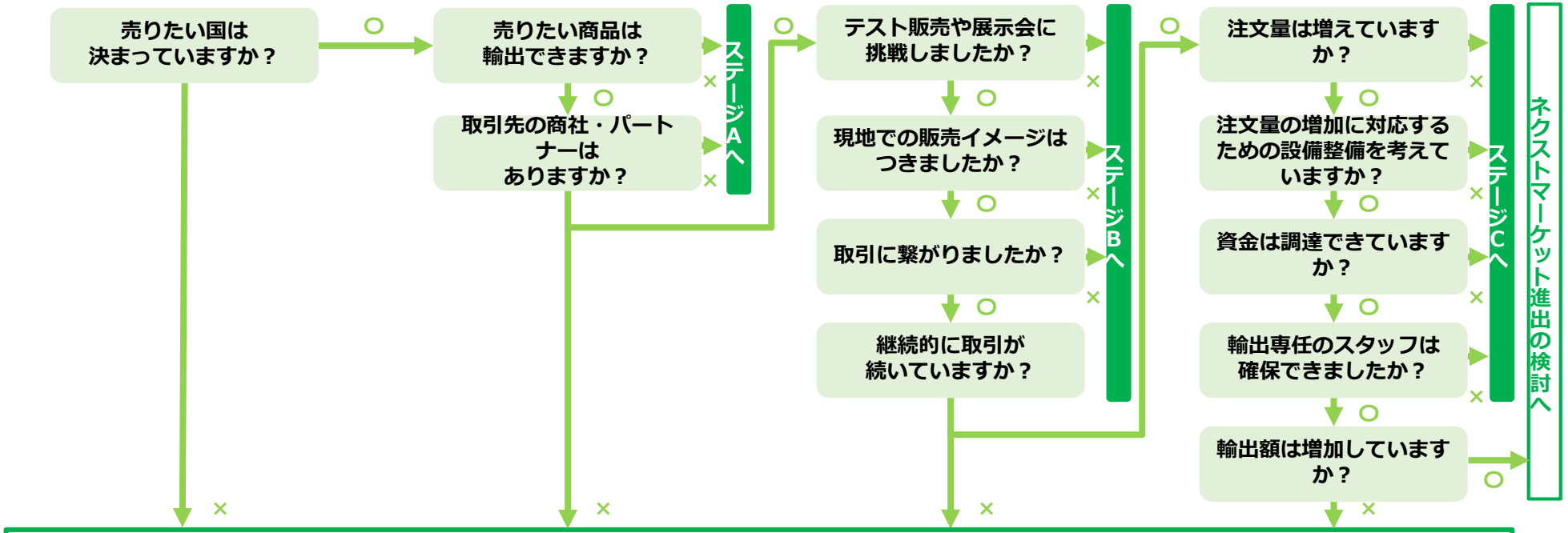
- 農政局
- 都道府県
- ジェトロ
- 中小機構
- 国税局
- 動物検疫所
- 植物防疫事務所

訪問診断の支援策紹介での代替
説明会等で活用

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFP沖縄 輸出サービスマップ（診断）

GFP沖縄(沖縄総合事務局)では、沖縄県からの農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、県内輸出支援機関が用意しているサービスを整理しました。最適な輸出支援サービスを選択いただく参考にご活用ください！



ステージA「輸出勉強コース」

まず海外市場を学び、自社輸出計画・目標を決めよう！

セミナー・イベント等に参加しながら、海外市場・規制等を理解し、パートナーを探す。

ステージB「輸出チャレンジコース」

テスト販売・展示会出展にトライしましょう！

海外イベント出展やプロモーションを実行し、商品の売り方や強みを理解する。

ステージC「輸出ビジネス実現コース」

継続輸出に繋げるための交渉・アプローチを続けましょう！

専門家からの助言も受けながら、自社規模に合う最適な輸出量・価格・物流ルートを確立する。

ステージD「輸出規模拡大コース」

輸出規模の拡大・自社輸出体制の見直しをしましょう！

大ロット販路の拡大、施設整備や担い手育成に向けた取組を進める。

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

GFP沖縄 輸出サービスマップ（取組の進め方 1/2）

ステージA「輸出勉強コース」

まずは海外市場を学び、自社輸出計画・目標を決めましょう！
セミナー・イベント等に参加しながら、海外市場・規制等を理解し、パートナーを探す。

Step 1



輸出のイメージを掴もう！

- □ 県内輸出支援サービスに登録しよう
- □ 支援機関の行っているセミナー・イベントに参加してみる
- □ 自社の輸出イメージを想像してみる

▶参考情報：
GFP沖縄、JETRO沖縄、中小機構沖縄事務所

Step2



自社輸出の可能性を考え、輸出計画を立てよう！

- □ 市場に合う商品であるのかを市場調査しよう
- □ 輸出規制はクリアしているか確認しよう
- □ 今後の輸出に向けて、進めるべきTodo・課題を洗い出し、計画を立てよう

▶参考情報：JETROカントリーレポート、農水省 OMARS
農水省 植物検疫早見表、食品産業センター 加工食品海外規制

ココが成功したポイント！



合同会社島唐食品
中嶋様

輸出未経験でも、沖縄県輸出支援機関に足を運び、GFPやJETROセミナーの受講、県の関係機関の支援を受けることで輸出に繋がりました。成功のポイントは**“根気強く情報収集すること”**だと思います！
(販路開拓：沖縄大交易会GFPブース、マッチング等活用)

GFP優良事例集掲載

ステージB「輸出チャレンジコース」

テスト販売・展示会出展にトライしましょう！
海外イベント出展やプロモーションを実行し、商品の売り方や強みを理解する。

Step3



実際に海外販売を体感し、パートナーを探そう！

- □ 展示会の出展方法・成功事例を学び、目的を決めよう
- □ 商談に必要な情報を収集・資料作成をしよう
- □ 支援機関が案内する展示会情報を収集しよう(沖縄大交易会等)

▶参考情報：
中小機構 海外展示会ハンドブック、GFP 展示会セミナー
GFPビジネスパートナーマッチング(GFPサイト内)

Step4



商品の売り方・ブランディングを検討しよう！

- □ 海外で求められるパッケージ・キーワードは何か考えよう
- □ 販売先チャネル（スーパー・レストラン等）を考えよう
- □ 必要であれば、商品改良・開発をしましょう

▶参考情報：
GFP輸出マーケティング分科会、沖縄県 補助事業
GFP 杉本商店「共感を生む海外プロモーションのポイント」

ココが成功したポイント！



マリンポートパートナーズ株式会社
今川様

「生産者だけ、日本人だけ」で考えてしまい失敗するケースがあります。GFPパートナーと連携することで、**「海外消費者や商社の視点」**を早い段階から取り入れ「現地の顧客視点」で**販路構築や商品開発**を行うことで成功の確率が上がります！(GFP沖縄コーディネーター・サミット等で講演)

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

GFP沖縄 輸出サービスマップ（取組の進め方 2/2）

ステージC「輸出ビジネス実現コース」

継続輸出に繋げるための交渉・アプローチを続けましょう！
専門家からの助言も受けながら、自社規模に合う最適な輸出量・価格・物流ルートを確立する。

Step5



自社の輸出方法を考えよう！

- □ 直接輸出・間接輸出が良いのか考えよう
- □ 国内物流ルートや納品時期を提案できるようにしよう
- □ 賞味期限を踏まえた輸送手段(海上・航空)を提案しよう

▶参考情報：GFP輸出商社塾、沖縄県 沖縄国際物流ハブ

Step6



バイヤーとのコミュニケーションを続けましょう！

- □ SNSを活用し、スムーズなやり取りをしよう
- □ バイヤーの懸念ポイントを正確に把握しよう
- □ 情報の速やかな提示ができる体制にしよう

▶参考情報：GFP輸出塾(商談で気を付けるべき事項)

ココが成功したポイント！



株式会社萌す
後藤様

意欲のある生産者・バイヤーが多く参画しているGFPを活用して、**"自社の輸出条件に合うビジネスパートナーを見つけた"**後は、**"SNS等を活用"**しながら、輸出したい気持ちを相手に伝えることが重要です！
(GFP沖縄コーディネーター・サミット等で講演)

GFP優良事例集掲載

ステージD「輸出規模拡大コース」

輸出規模の拡大・自社輸出体制の見直しをしましょう！
補助事業等も活用しながら、大ロット販路の拡大、施設整備や担い手育成に向けた取組を進め。

Step7



大ロット輸出に向けて自社体制を強化しよう！

- □ 輸出拡大に向けて不足しているリソースは何か考えよう
- □ 農林水産省等の補助事業を調べよう
- □ 状況に応じて、資金調達を検討しましょう

▶参考情報：GFP輸出事業者に対する輸出予算の説明会、
日本政策金融公庫

Step8



今後の輸出展開を決め、収益性を計算しましょう！

- □ 今後の販売計画・数値目標を見直そう
- □ 輸出事業計画等を活用しよう
- □ 次の販路開拓国やチャネル等の方向性を決めよう

▶参考情報：農林水産省 輸出事業計画、
GFPネクストマーケットセミナー

輸出支援機関の詳細内容は、GFP沖縄サイトにて公開中！

輸出サービス・補助事業一覧（沖縄版）
GFP沖縄ホームページTOP

支援機関の説明動画

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

GFP沖縄とは？

全国版のGFPと連携し、沖縄の農林水産物・食品事業者に密着した輸出支援体制です。
商社・海外バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり、輸出実証を実施し、持続的な輸出拡大に結びます。

GFP沖縄の取組

GFP沖縄発足（2023年6月～）





- 「輸出スタートアップハブ」をテーマにしたGFP沖縄を発足し、メディア・輸出支援機関等と連携しながら発足を周知
- 継続的な伴走支援を通じて、出口を見据えた商社・海外バイヤーとのマッチング等を実施

GFP輸出スタートアップ 沖縄サミット（2023年7月）





- 第一弾のキックオフ＆マッチングイベントとして、7月27日に沖縄本島(浦添市)を実施
- スタートアップ戦略会議として、未来の沖縄からの輸出づくりについて検討
- 事業者同士のグループマッチングや個別商談を実施

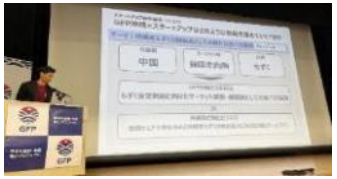
離島開催（2023年11月）



- 離島からの輸出の取組を促進することを目的に、石垣島(11/9)・宮古島(11/10)を開催
- 有力EC事業者の招致・チャレンジ実証を通じて、輸出の第一歩を踏み出し、持続的な輸出拡大につながるようなサポートを実施

有力商社招致・フォローアップ











©Aglin 2024. All Rights Reserved.

GFP活用パターン例①：ゼロからの輸出力強化(初級者向け)

オンライン訪問診断を通じて、課題の把握・今後の方向性を明確化した後、輸出塾を通じた実践的な輸出知識の習得・商社とのテスト輸出に繋げることが可能です！

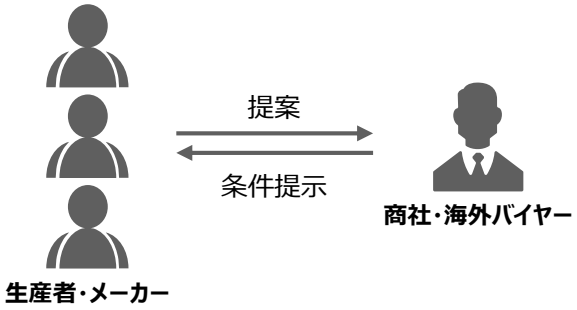
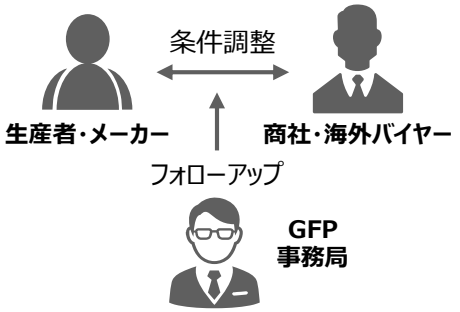
	オンライン訪問診断・コミュニティーサイト活用	GFPイベント（沖縄サミット・商談会等）	GFP沖縄輸出実証・沖縄大交易会出展
			
	輸出課題・方向性を明確化	**実践的な輸出知識を習得**	**商社・現地ECでのテスト輸出**
概要	• 沖縄総合事務局・JETRO・沖縄県担当との相談先確保・サービス理解 • 輸出に向けた課題・対応の方向性の明確化	• 輸出に向けた現状・課題の分析、講師からの助言を踏まえ戦略策定 • 商社・海外バイヤーとの商談会等の機会を活用	• バイヤーと連携した輸出準備・テスト輸出 • ゼロから輸出の”一歩目”を踏み出すことに成功
GFPサポート	• 訪問診断の日程調整、当日の進行サポート • 既存の調査資料等を共有、GFPサポートメニュー活用のアドバイス	• グループワークのファシリテート • 輸出塾での検討を踏まえたバイヤーとの商談サポート	• 輸出実証計画の策定、輸送・テストマーケティングの実施支援 • 実証結果の取りまとめ、今後に向けたPDCAサイクル運営のサポート

※農林水産省・GFP全国版(アクセンチュア)資料参照

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

GFP活用パターン例②：商社/海外バイヤーとのマッチング(中級者向け)

マッチングイベント等を基点として、商社・海外バイヤー等との継続的な調整・事務局によるフォローアップを通じて早期のテスト輸出に繋げます！

	マッチング （商談会/ ビジネスパートナーマッチング）	フォローアップ・伴走支援	GFP沖縄輸出実証・ 沖縄大交易会出展
			
	キー商社・バイヤーとのマッチング	**課題解決に資する継続調整**	**商社・現地ECでのテスト輸出**
概要	• ターゲット国向けのキーとなる輸出商社・海外バイヤーとのマッチング • 太い海外販路を有する商社・海外バイヤーを招聘	• マッチングした商社・海外バイヤーがビジネスパートナーとして伴走支援 • 商談を踏まえ、輸出に向けた条件・課題のクリア、輸出手続の準備	• GFP輸出実証を活用し、本輸出に向けて取組に反映 • 現地でのテストマーケティングを踏まえた商品開発
GFP サポート	• 商社・バイヤーとの”相思相愛”を事前調整 • 商談の進め方の事前共有・当日の商談をサポート	• 生産者・メーカー及びバイヤー双方と連携した進捗管理 • 輸出に向けた課題解決のための伴走支援	• 輸出実証計画の策定、輸送・テストマーケティングの実施支援 • 実証結果の取りまとめ、今後に向けたPDCAサイクル運営のサポート

※農林水産省・GFP全国版(アクセンチュア)資料参照

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

GFP活用パターン例③：事業者間コラボレーション

輸出事業者間の連携を目的とした、テーマ別(各地域・品目・業種等)のイベントを開催し、様々な事業者間交流・きっかけづくりを創出します！

コラボレーションイベント

GFP沖縄イベント



- 登壇事業者の先進事例を把握・マッチング
- 交流会にて他の輸出事業者とのマッチング
  (GFP輸出スタートアップ沖縄サミット)

部会/交流会



- 課題解決に向けた議論・方向性の明確化
- 同業種・異業種事業者との意見交換・マッチング(GFPオンラインセミナー、加工食品分科会等)

コラボレーション輸出取組（GFPレベルUPコース）





- GFPレベルUPコースにて、共同での商品開発を行い、海外バイヤーからフィードバック受領・試食会を実施
- セットでのメニュー提案・新規販路開拓
- 商社間連携での産品確保・販路開拓・共同物流
- 加工食品クラスターの組成
- 地域港湾を活用した、輸出物流ルートの構築

※農林水産省・GFP全国版(アクセンチュア)資料参照

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

輸出支援機関 サービス紹介（1/2）

沖縄総合事務局 農林水産部 食料産業課（GFP沖縄）

サービス　補助事業

GFP沖縄による輸出スタートアップ及び継続的な伴走支援、輸出事業計画の策定支援、輸出促進関係補助事業の活用の推進、輸出証明書の発給・地理的表示制度を活用した海外模倣品に関する対応などを行っております。

農林水産物・食品の輸出に取り組む事業者等の皆さまからの輸出相談を受付け、課題解決のお手伝いや輸出の後押しをします！

更に詳細な情報や、証明書の申請が必要となる等の場合には最適な相談先や証明書の申請先等を紹介します。お気軽にお問い合わせください。

GFP沖縄HP

内閣府沖縄総合事務局 農林水産部食料産業課
輸出促進班　098-866-1673

沖縄総合事務局 経済産業部 商務通商課

サービス　補助事業

企業の海外展開の促進を図るため、「沖縄域外競争力強化促進事業費補助金」や「新規輸出1万者支援プログラム」をはじめとした支援を行っております。

管内企業の海外展開支援に向けて尽力してまいります。お気軽に御相談ください。

商務通商課HP

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部商務通商課
TEL:098-866-1731（担当：間仁田、安慶田、宮平）

沖縄県 商工労働部 アジア経済戦略課

補助事業

沖縄国際物流ハブの活用による沖縄県産品の海外展開に関する支援を行っております。

海外販路開拓に取り組む事業者様への各種支援を用意しています。お気軽にご相談ください。

アジア経済戦略課HP

【委託先】(公財)沖縄県産業振興公社
098－859-6238

沖縄県 商工労働部 ものづくり振興課

補助事業

沖縄県内に製造・研究開発の拠点を有する企業を開発主体とする製品開発共同体が実施する、主に県外海外をターゲットとした新製品開発プロジェクトに対し、開発費の補助(3/4) を行います。採択された事業者は、沖縄県産業振興公社によるハンズオン支援を受けることができます。

応募の前に、沖縄県産業振興公社にて事前相談をしていただくことが必要です。県外・海外をターゲットにした新製品の開発を予定されている方は、ご相談ください。

産学官連携製品開発支援事業

［委託先］(公財)沖縄県産業振興公社
産学官連携製品開発支援事業チーム　098－859-6239

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

輸出支援機関 サービス紹介（2/2）

中小機構 沖縄事務所

サービス

経営課題の解決という観点から、海外展開を支援しています。海外の専門家との長期的な伴走支援もご用意しています。

対面またはWEBで無料で何度でもご相談可能です。まずはお気軽にお問い合わせください。

中小機構沖縄HP

中小機構沖縄事務所 海外支援担当課
098-859-7566

沖縄国税事務所

サービス　補助事業

日本産酒類の輸出拡大及び酒類業の健全な発達を促進するため、新市場開拓や海外展開に向けた取組を支援しています。

日本産酒類のブランディングや海外販路拡大等の取組に国税庁補助金が活用できますので、お気軽にご相談ください！

国税庁HP(酒類支援)

沖縄国税事務所　間税課　酒類業担当官
098-867-3601　内線425

農林水産省 動物検疫所沖縄支所

相談窓口

畜産物の輸出に関する条件及び手続等の問い合わせ対応します。

畜産物の輸出に関し、疑問点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

動物検疫所HP(畜産物輸出)

農林水産省動物検疫所沖縄支所
098-861-4370、aqs.nah@maff.go.jp

農林水産省 那覇植物防疫事務所

相談窓口

植物等を輸出する際の植物検疫に関する情報提供を行います。

植物等の輸出に際してご不明点がございましたらお気軽にご連絡ください。

植物防疫所HP(輸出条件)

那覇植物防疫事務所輸出及び国内検疫担当
098-868-1679

問い合わせ先(GFP沖縄事務局)

GFP沖縄事務局
(株式会社プロダクツ・プラニング 株式会社Aglin)
- 電　話：098-987-0582
- メール　：info@aglin.jp

GFP沖縄
公式LINE
友達募集中！

GFP沖縄ホームページ (沖縄総合事務局)
https://www.ogb.go.jp/nousui/yusyutsu/230530_2

©Aglin 2024. All Rights Reserved.

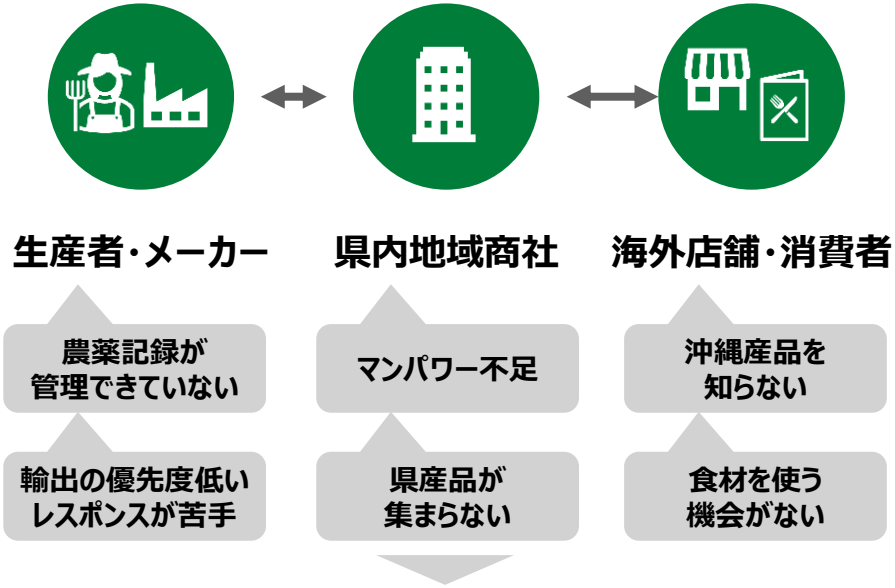
今年度の取組

（イメージ）取組結果を踏まえた「県産品の現状課題・目指すべき姿」

Check

沖縄には、年間百万人の海外観光客が訪問。観光地としての「沖縄」は知名度が高く、一定のブランドとして認知されているものの、輸出をにらんだ沖縄県産品については、品質面、供給面でも、そのプラスイメージに追随できていない。生産強化(GFP沖縄)×販路開拓(県)×輸出実務(商社)でのチーム体制を整備し、品質面・供給面の底上げを図りつつ、更なる展開として、沖縄のロイヤルカスタマー・ブランド作りを推進すべき。

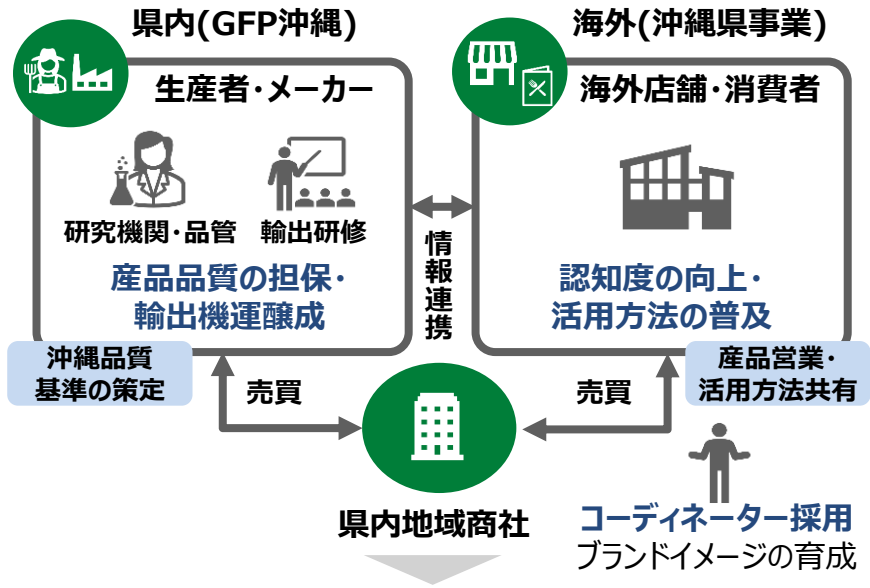
現状課題(As-Is)



沖縄の特性・メリットを生かした輸出体制ができていない

- 県内は大規模な生産基盤がない等の事情から、沖縄県産品が集まりにくい状況はあるが、他県に比べて、**観光地としての知名度が高く、インバウンド需要が取り込めるポテンシャルがある。**
- 一方、生産者側は販売は商社まかせとなっており、**「沖縄」のイメージを活かし切れていない現状もある**

目指すべき姿(To-Be)※



上記体制づくりに加え、「沖縄のものだから欲しい」というような沖縄のロイヤルカスタマーを作り、沖縄ブランドを育てる戦略も必要

- これらを達成するために、海外営業を担う、コーディネーター(若手推奨)を起用することで、県産品の認知度向上・活用方法普及を行い、**沖縄のイメージを乗せた「沖縄ブランド」を育成**
- 県内、海外が情報連携をし合いながらも、産品品質の担保を行うための支援や機運醸成に関する研修を実施

※沖縄総合事務局・沖縄県事業とのデマケも図りながら、効果的な施策を実行していく推進

Copyright © 2021 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

会員からの声

課題に応じた「具体的なアクションプラン」（1/3） ※GFP沖縄で実現できること　Action

取組を通じた課題

- **はじめて輸出に取り組む事業者の事前準備不足**
  - **商品規格書・見積の準備不足：**石垣島サミット後に香港SMILE WAVE社より、石垣島ハンバーグの引き合いがあったが、商品規格書・見積書を提出することができず、輸出取引に繋げることができなかった
  - **輸出に至れない商品品質・体制：**オイシックス実証では、45商品がエントリーしたが、21商品の商品が輸出に至らなかった。中でも、添加物や商品表示等の商品管理が原因で輸出に至らないケースが最多となった（輸出に至らなかった要因：①添加物、商品表示（5社12商品）、②与信管理（3社5商品）、③その他（輸入商社側の都合等）（3社４商品））

    → 輸出に必要な書類の準備や、輸出可能な商品であるかの事前確認が重要。県内品管専門家を用いて、現地視察や商品情報の確認を推進していくべき
- **高度な専門的輸出支援体制の構築**
  - 県内では既に輸出を成功させている島唐食品(調味料)・ジーオーファーム(牡蠣)も存在しており、新たなマーケットへの進出も検討しているなか、専門的な輸出相談(EC取引の契約・添加物対応・海域指定等)も増えている。

    → 輸出経験のある事業者は、輸出先国の規制に対応した成分分析、包装資材、パッケージデザイン改良等の個別の課題に応じた輸出の専門家に随時相談できる機会を設けることが必要
- **輸出優先度の低さ**
  - 観光ビジネスが盛んな県内では、観光をはじめとした内需のウェイトが高い。地域によっては輸出に対する意欲が低く、行政機関の協力体制が得られないケースもある。輸出によるメリットの訴求が重要

    → 輸出の機運醸成に向けて、地域の関係者を巻き込みやすい小規模イベントの開催・LINE等のツールを活用しながら、輸出関係者との定期的なコミュニケーションが必要

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

課題に応じた「具体的なアクションプラン」（2/3） ※GFP沖縄で実現できること　Action

取組の方向性

輸出熟度に応じた専門分野のサポート（※実践的且つ具体的な支援）

- **これから輸出に取り組む事業者への支援**

  意欲はあるものの、輸出に向けた準備が不足している事業者が多い。商談に向けた商品登録シートの作成、商品の品質管理等、最初につまずきがちな段階を支援することが重要。

- **輸出経験のある事業者への支援**

  経験があり、更に新たなマーケットや商品で輸出にチャレンジしようとしている事業者は、相手国の規制に対応した成分分析、包装資材の選定、パッケージデザイン改良等、専門性の高い課題をクリアする必要がある。専門家に相談できる機会を設けることが必要。

掘り起しと輸出機会の創出

- **輸出相談会の開催**
  - 掘り起しとして、地域の関係者を巻き込んだコミュニケーション重視した輸出相談会を行う。石垣島・宮古島で実施した規模、進め方の方が、相手の課題に応じた支援が可能で、事業者の満足度も高い。
  - マッチングの裏側では、バイヤーグループワークだけでなく、事務局が輸出に向けた相談を受けることで、今後のTodo・事業活用の仕方等を提案でき、効果も高い。
  - 沖縄らしく、省エネでできる沖縄大交易会などの取組は継続したい。石垣・宮古島イベント直後の大交易会は、すぐに事業者フォローアップにも繋げられた。イベント後に再度事業者と接触するのは有効。
  - その他、コロナにて輸出をストップしてしまったが、輸出への意欲・知識のあるリスタート組への支援を行うことで、早期の輸出実現を行う。

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

課題に応じた「具体的なアクションプラン」（3/3） ※GFP沖縄で実現できること　Action

- **品目・業種部会での支援体制**　※伴走支援の強化
  - これまで物流検討会（浦添イベント、GFP鹿児島）や畜産検討会（石垣島イベント）を実施してきた。GFPですべき役割の明確化をしながら、各品目・業種の輸出に寄与できる動きをしていくべき。

    （例：物流（卸など産品を集約してくれるスタートアップ・EC事業者の誘致）、畜産（石垣島生産者の取りまとめ））
- **輸出実証（輸出機会の創出）**
  - 掘り起しの出口戦略として、今年度は、オイシックス香港で実証を実施したが、輸出商品の層を広げる実証の必要性
  - 事業者のレベルUPに繋がる実証として、書類提出・輸出に向けた主体性を出させるような実証の検討
- **他輸出支援機関との連携と情報発信　※発信強化**
  - 行政輸出塾を継続的に実施しつつ、他機関で活用可能な実証メニューの募集をGFP沖縄サイト及びLINEで流していくことで、輸出のきっかけづくりを行う
  - 今年度事業で活躍したGFP沖縄メンバーの取組を取りまとめて、発信していく

<u>海外実地営業</u>

- 海外ビジネスでもあり、現地視察・キープレイヤーとの打ち合わせをしたいニーズも高いので、GFP沖縄でも同行営業のアテンドや沖縄メンバーで視察(できたら現地でプチイベント)を行う

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFP沖縄事業者へのアンケート結果

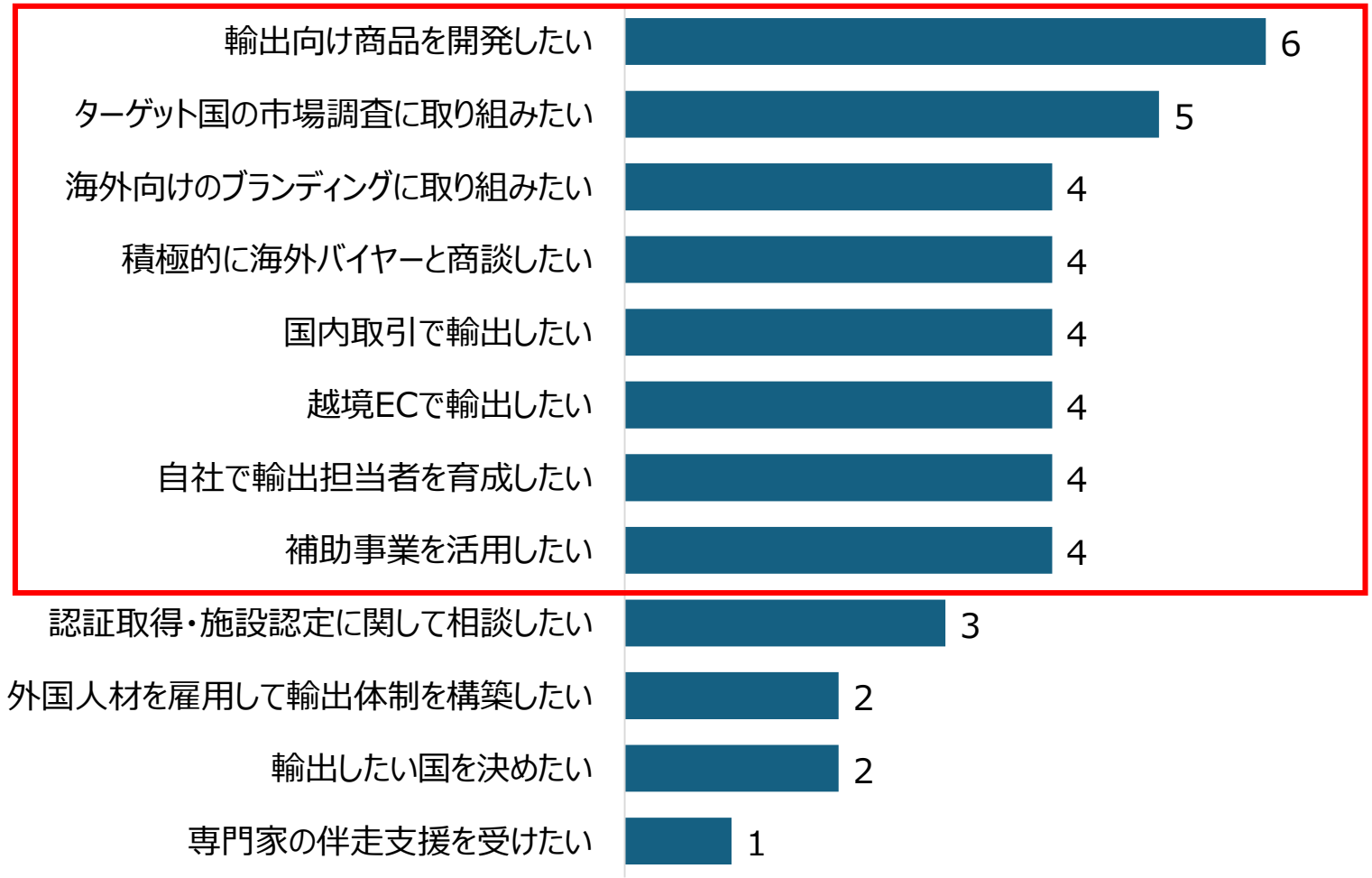
輸出に向けた現在の課題

事業者名	課題
泡盛メーカー	• **現状輸出対応のスタッフが私一人しかおらず**、他の業務もあるなか**不完全な対応**となっている。
食品メーカー	• 原材料の高騰、物流価格の高騰
さつまいも生産者	• 生産の拡大と安定 • 県内加工向け/青果向け**需要の安定**(受け皿) ※輸出のみで生産物全てを出荷することは現実的ではないため • 沖縄⇒海外の物流コスト ※もしいつもの**補助がなくなれば確実にエアでの輸出は不可になる作物が多い**
水産養殖	• 海外における**付加価値訴求方法**や、プライスリーダーを目指すべく、**プライス戦略の検討**
輸出商社/卸	• 弊社では、現在小売店舗越境ECビジネスに取り組んでいます。現在、中国においては、SingleWindow、米国においてはFDA Registration Numberの事前取得など、**B to Bビジネスは制度的障壁が多くなっています**。 • そのため、訪日外国人や邦人を対象とした、小口宅配的越境ビジネス主眼に日本郵便（国際郵便マイページ）とシステム連携を行いデータ通信によるデータ通関により、用意に小売店舗から海外へ輸出できるシステムを構築しています。現在、日本郵便国際郵便マイページとのAPI連携に向けて取り組んでいるところです。なお、同取り組みは2020年から22年にかけて「道の駅かでな」にて実証実験的にシステムの有効性および国際物流の確立が証明されています。
食品メーカー	• 現在間接輸出を行っており、その対象国は主に中国なので、日中関係のあおりを受けやすい。 台湾に向けて輸出したいが、弊社の主力製品であるもろみ酢が台湾では輸入禁止となっていたり、**シークヮーサーは類似果実が有る為、難しい点がある**。そのため、台湾向けの商品を開発したい。
食品メーカー	• 輸出をしてから3年だが大きな商談成立はなく、今後輸出を拡大していきたい
生産者	• 新しいハウスを建設予定。どの様なハウスにしたら後々輸出に向けて楽だろうかを知っておきたい。

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

GFP沖縄事業者へのアンケート結果

今後の輸出取組に向けて取り組んでいきたいこと・関心事項を教えてください



Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

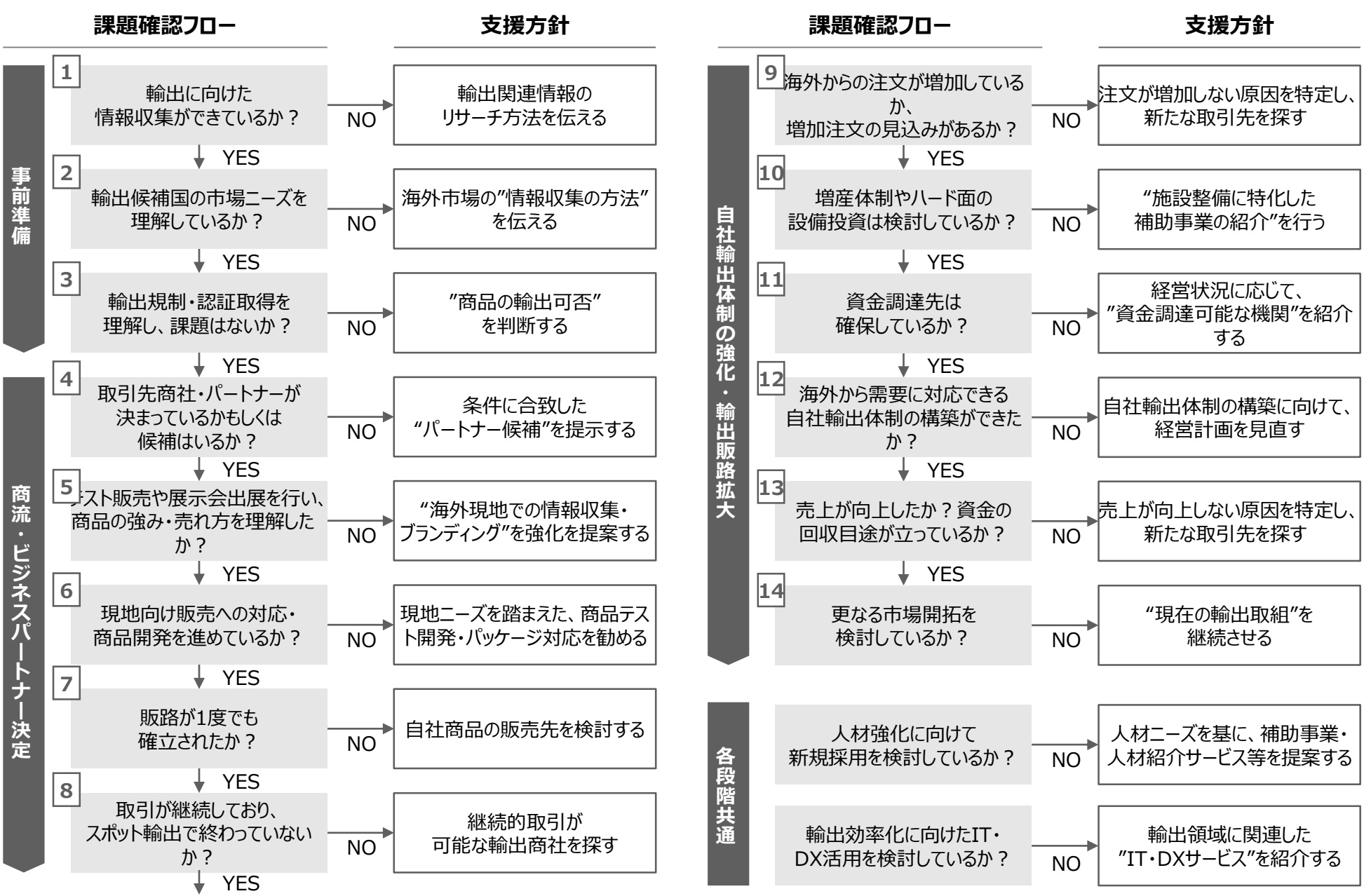
GFP沖縄事業者へのアンケート結果

今後の取組に関するご意見・今後の期待等があればご自由にお聞かせください

項目
• 今年も大交易会参加予定ですので、よろしくお願いいたします。
• 人材マッチングに関しては弊社にてもう少し勉強を重ねてから活用したい
• 輸出に関して細かい不明な点の解消や新規取引に関してのアドバイスなど、今度ともサポート頂けると嬉しいです。
• 人材マッチング支援は現時点では上記回答ですが、今後の事業展開に応じてご相談させて頂きたいと考えています。様々な情報はとても参考にさせて頂いております。今後とも、よろしくお願いいたします。
• 増大傾向にある訪日外国人、また訪日外国人の免税物品の携帯輸出については、日本国内での消費や譲渡、転売が最重要課題となっています。そのため、免税物品を店舗から直接訪日外国人の海外の自宅へ送付することで、上記課題と店舗における「ついで買い」や「まとめ買い」などにより、顧客単価の拡大が実証されています。 • 今後の海外とのビジネス形態については、B to B偏重から、小口宅配的越境ビジネスも視野に入れる時代になっているように思われます。興味がありましたら、連絡下さい。関係資料を提出致します。
• インバウンドとの輸出の連携
• 今年度は直接現地営業を強化していきたいと思っているので現地に詳しい方のサポートが受けられると助かります。
• これまで通り、沢山の情報、取り組みをやっていって欲しいです。

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

フォローアッププラン 決定フロー



概要説明

進め方

- 自己紹介　10分
- 【Share】
  これまでの輸出支援で受けた問い合わせや具体的な対処法を共有しましょう！（成功･失敗例）20分
- 【Discussion】
  上記の成功例を増やしていくために支援機関同士で何が連携できるか考えましょう！　40分
- 今後の展望
- 発表 35分
- アンケート

Share

20分



これまでの輸出支援で受けた問い合わせや具体的な対処法を共有しよう！（成功・失敗例）

事業者からのアンケートを参考に、どう対処するべきか想像してみよう！

✓ 相談を受けたけど、うまく対処できなかった…

→なぜ？どう対処すればよかった？

✓ プロモーションサポート

→どう進める？自分は何ができる？他の機関との協力

自分の経験をシェア・発言者の立場に立って考えてみましょう！

Discussion･Consider

40分



支援機関同士で何が連携できるか考えてみよう！
また、他地域とも輸出取組を行えるか考えよう

各機関の支援策の今後の展望や海外販売に繋がる支援を想像してみよう！

- ✓ 輸出支援マップ活用
- ✓ 九州と連携した取組を行う可能性
- ✓ 自分の所属する機関の支援策は今後どうなる？

自分の経験をシェア・発言者の立場に立って考えてみましょう！

第一回 行政輸出塾 in 沖縄（7/23）

Creative Matrix

GFPとして提供できる機能・メニューは以下を想定しています。

機能・アセット
商社・海外バイヤーとのマッチング
輸出を目指すチーム作り・テスト輸出の後押し
海外消費者に向けた情報発信・プロモーション
海外プロモーション（海外シェフ・ディストリビューター向け）
輸出物流ルート・輸送手段工夫・鮮度保持技術の確立
輸出産地づくりの支援
輸出規制・検疫条件の海外交渉・緩和
その他

～クロージング～

本日の目的

・事業者のニーズを理解する
・自分たちがどういう支援ができるのか？
　自信もって支援できる人は誰か？
・関係者間でのネットワーク構築

次回予告

①沖縄らしい輸出支援取組に向けたプチ講義
②講演者とのディスカッション・アイデア出し
（各輸出支援機関で取り組むための輸出トレンド・知恵の発掘）

～クロージング～



本日のワークを通じた感想

①今回のワークでの気づき・議論できたこと

②自身の業務で実現できそうなこと・意気込み

③第二回で議論したいこと

アンケートへのご協力をお願いします！

アウトプット結果のサマリ（1/2）

行政窓口には下記課題が相談に寄せられており、輸出に関する専門知識を行政側が理解し、事業者の皆様にご説明できるような体制構築が急務。

事業者皆さんからお聞きする課題

専門知識・人材の不足

- 専門部分への対応が難しい
- 輸出に詳しい人材がいない
- 輸出についての専門家人材がいないため、輸出に繋げられない
- 輸出相手国で商品について発信する人材を育成したい
- メーカーが輸出の手順についてわかっていない

輸送・コスト

- 沖縄からの輸送コスト
- 冷凍品はコスト面で県外経由での輸送となる
- 新しいコンテナ技術

規制・法令の難しさ

- 国ごとの規制対応が難しい
- 台湾向けの通関が長い
- 牛肉は屠畜先が相手国の衛生基準を満たさない

包装・環境対応

- 包装のリサイクルはすぐに対応することは難しい

商品・市場のニーズ把握

- 現地での商品ニーズがあるのかどうかわからない
- 商品開発が上手くいかない
- 定番化できる商品に絞り込む
- 畜産物・伝染病（豚熱・鳥インフルエンザ）の影響

販促活動

- プロモーションイベントは実施するが単発で終わってしまう

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

アウトプット結果のサマリ（2/2）

支援体制の強化を図るとともに、①輸出計画・商品の明確化に向けたサポート、②学術者を活用した課題解決、③行政間で連携した輸出相談会の実行等が挙げられた。

課題に対する対応策

課題の明確化・共有

- 輸出したい商品の希望・課題の明確化
- 優良事例の紹介
- 認知度の向上

輸送・コスト対策

- 那覇港のコンテナと絡める
- クルーズ船とタイアップしたPR

支援体制の強化

- 相手国の規制についての理解を進める
- アドバイスをする窓口支援側の充実
- 行政機関の合同輸出相談会の開催
- 県の海外事務所での現地ニーズの紹介、現地の事務所や駐在員の活用
- 輸出EXPOの出展補助

技術・研究の活用

- 技術の活用
- 実証実験があると、学術的アドバイスなどもできる

商品開発・改良

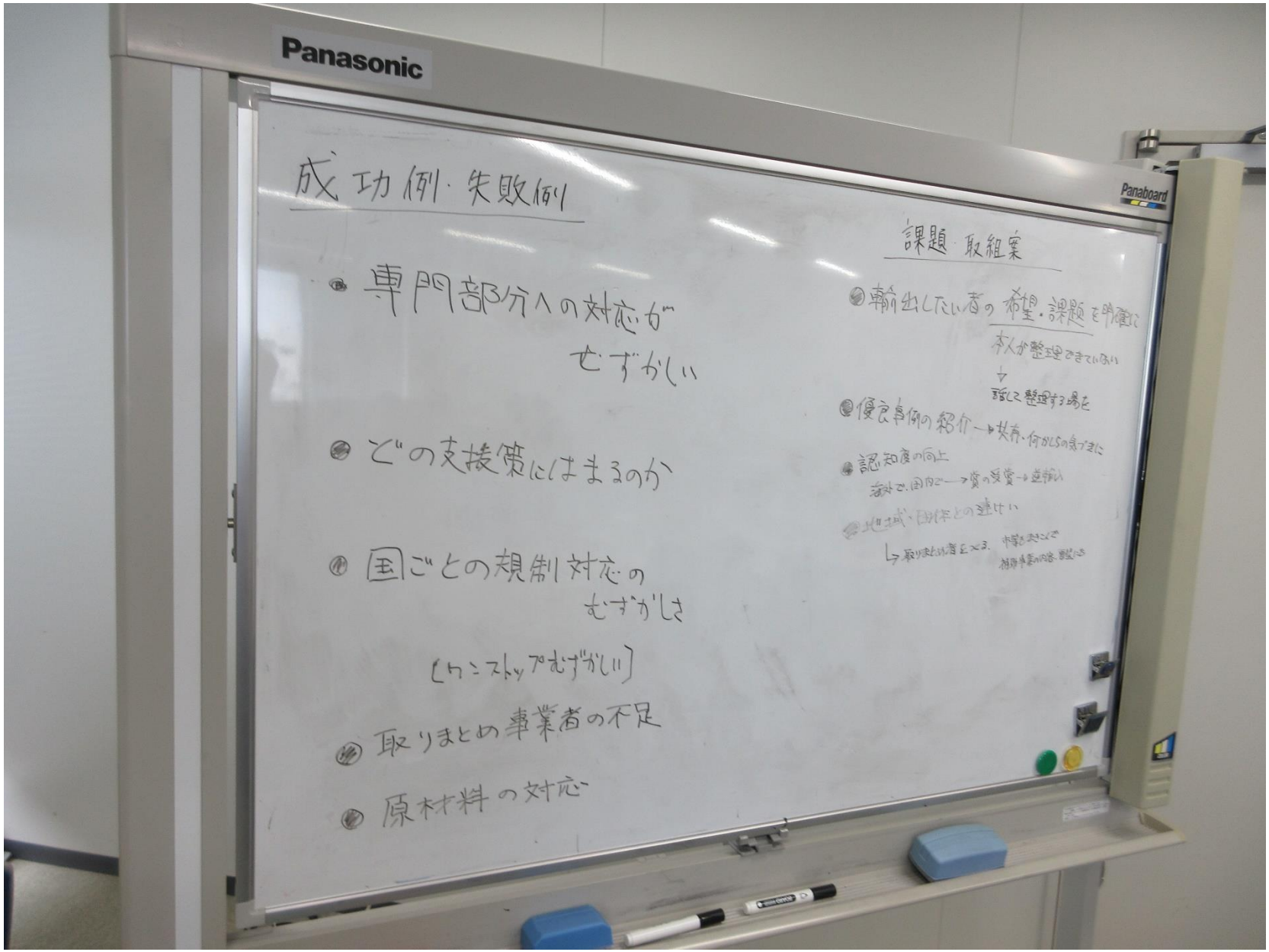
- 商品規格書のフォーマット化を進める
- 酒類について、現地の求める情報・商品についての内容をまとめたフォームの作成
- 成分分析やパッケージ改良の補助事業

その他

- パッケージの工夫
- GFP沖縄LINEにて各行政機関の取組内容について周知
- 会社の規模等に合わせた輸出のアドバイス
- 販売方法や商談の仕方を考える。

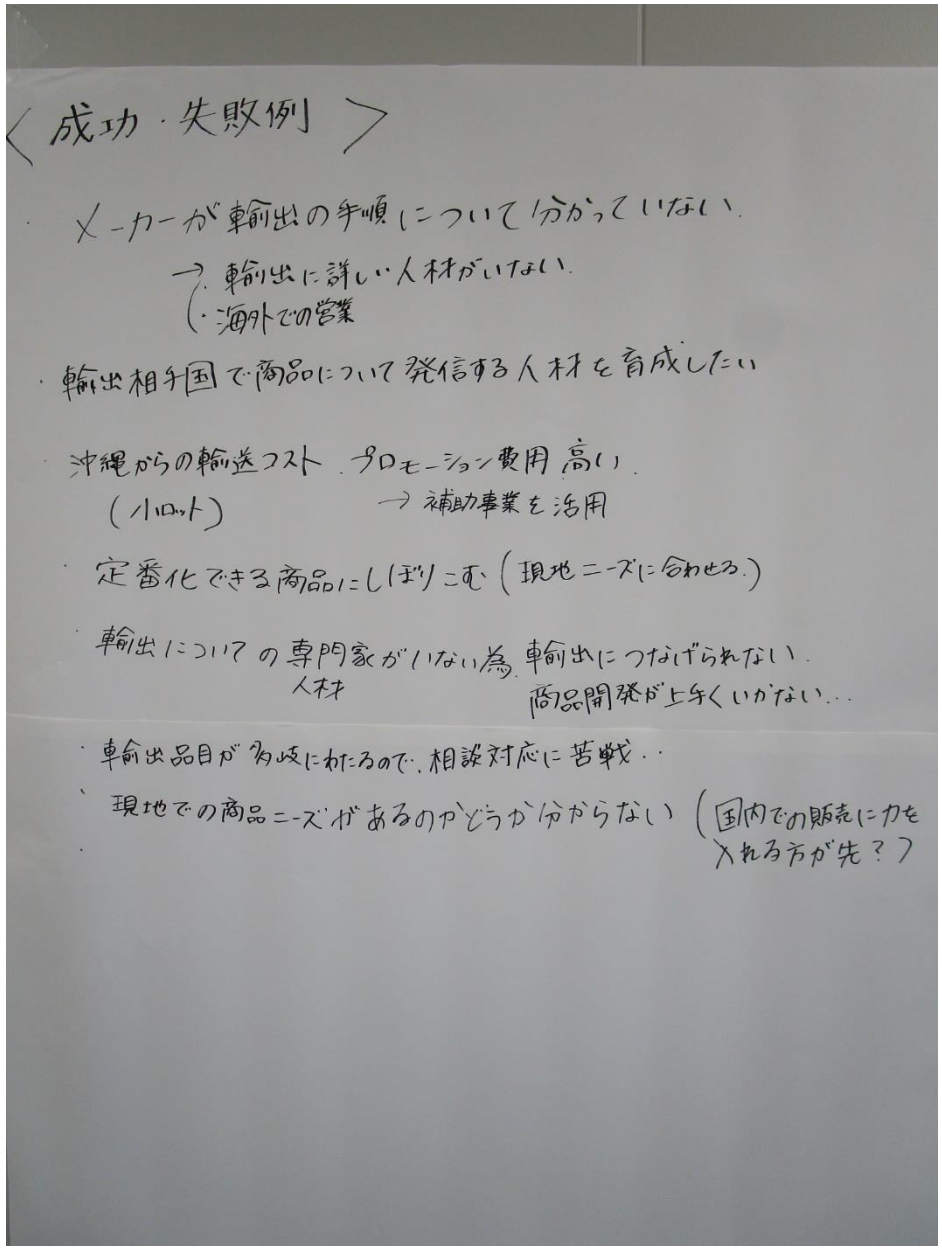
Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

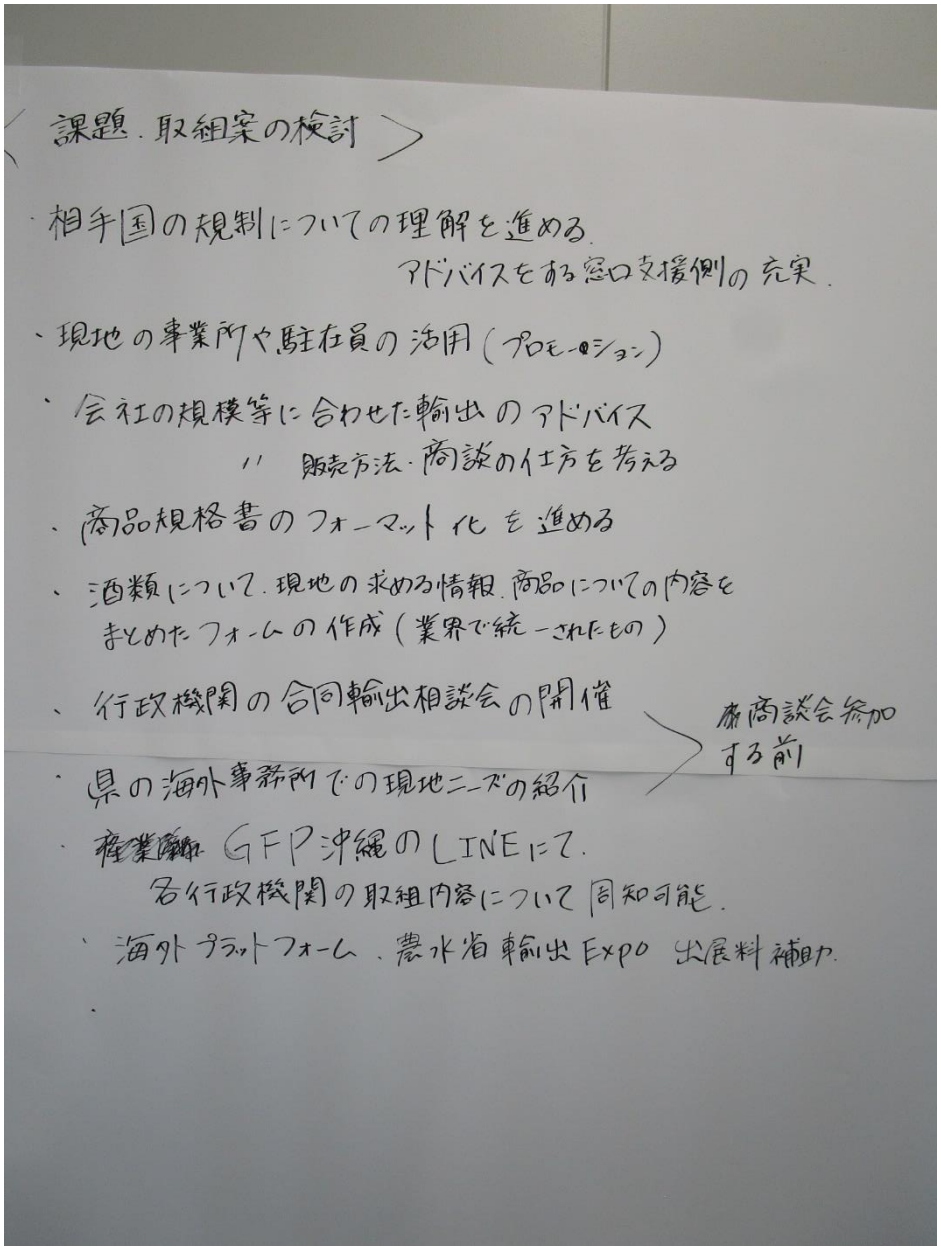
アウトプット　～グループA



Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

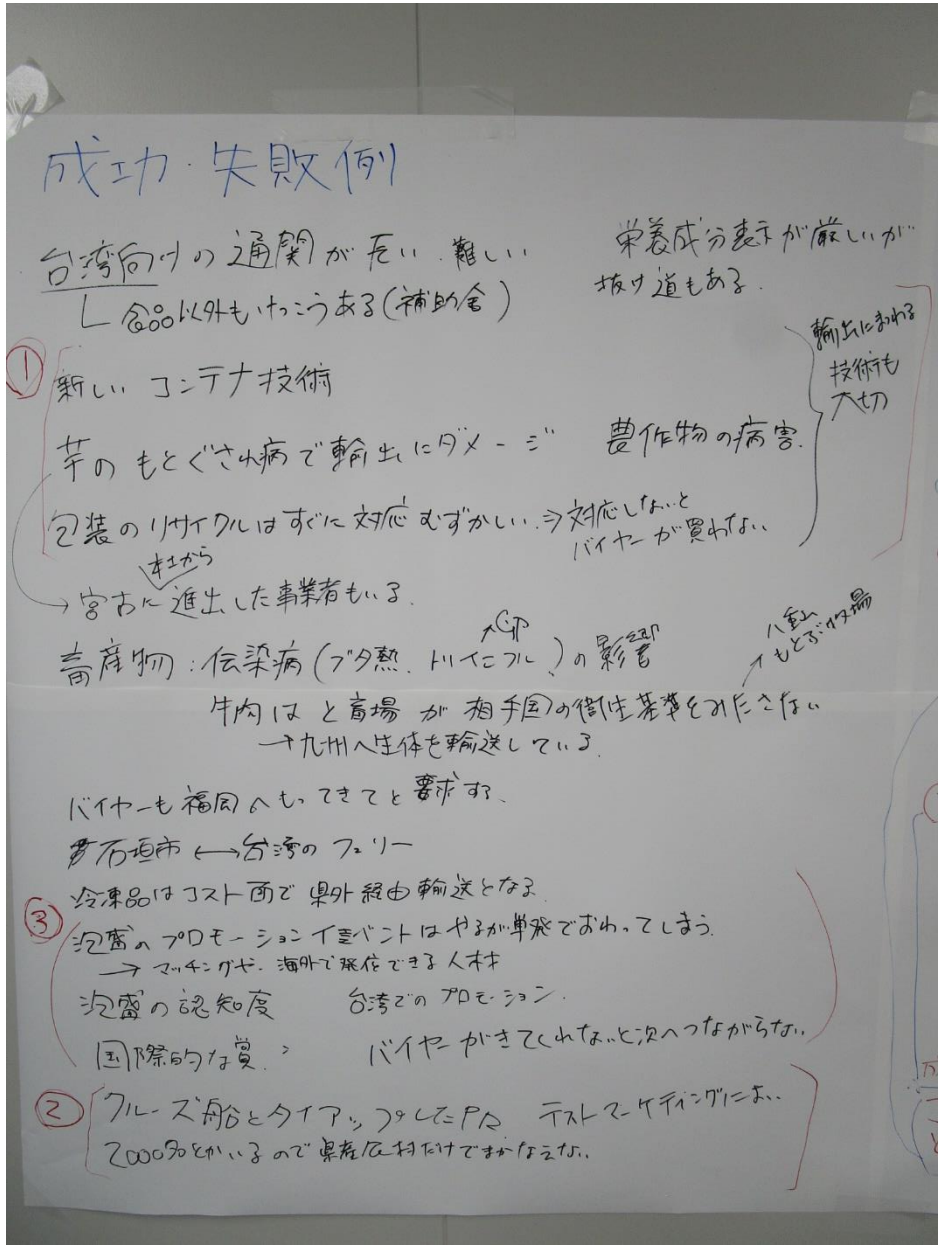
アウトプット ～グループB

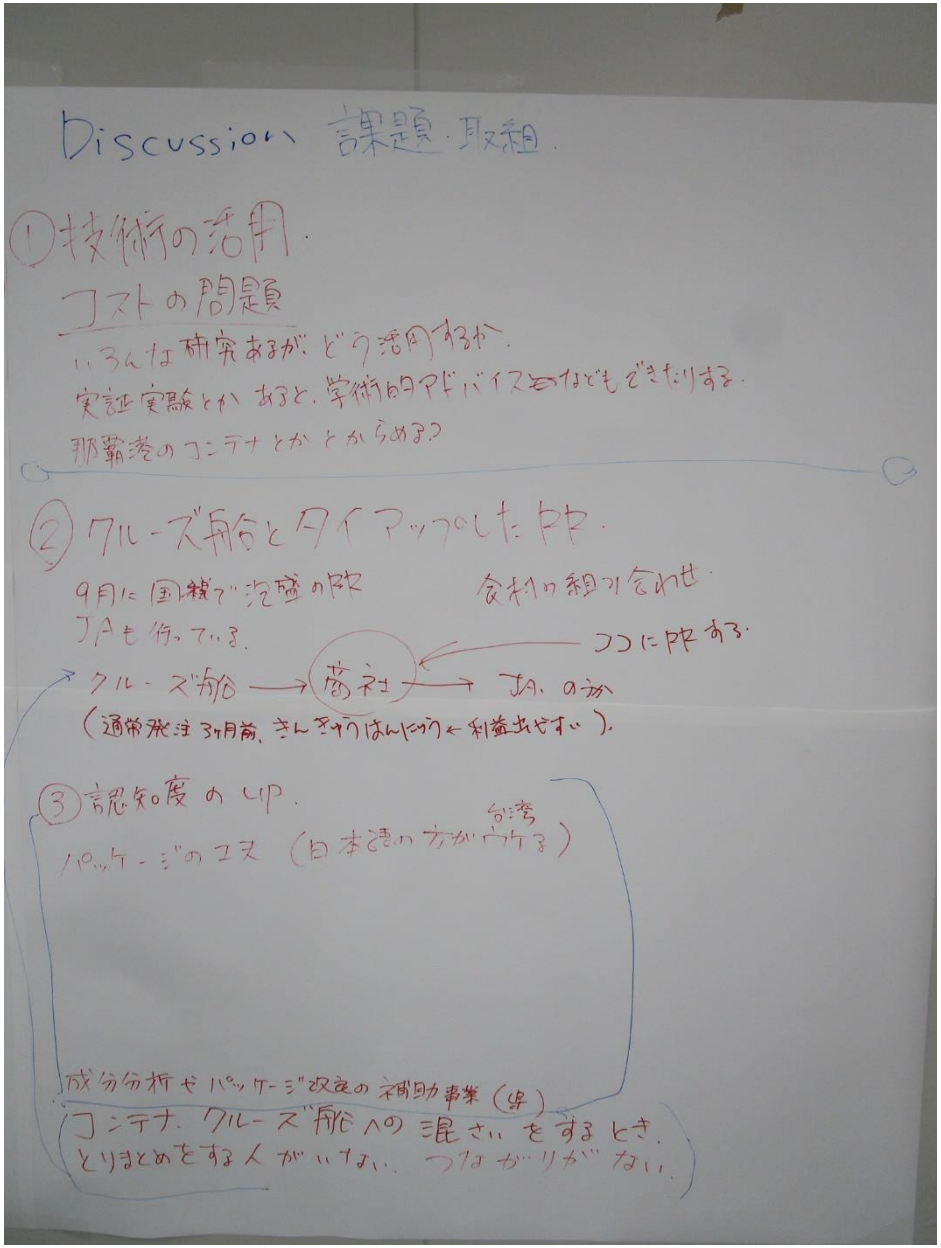




Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

アウトプット ～グループC





Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

会場の様子（1/2）













Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

会場の様子（2/2）









Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（1/5）



- 人材確保・育成、輸出に対するイメージの持ち方、経営体制など輸出を始める以前の課題が多くあることを改めて痛感した。（モノはいいのに人がいない、生産量が少ない、どうしたら改善されるのか）
- 他県との連携には個人的に興味がある。GFPのラインに事業広告するのは良いと感じたため上司に相談したい



- 他のグループの発表も聞き、共通の課題（輸出のやり方・手続きが良く分かっていないなど）が確認できてよかった
- 酒類担当のため、他のグループでの泡盛の取組が参考になった。国税事務所など同じ酒類に関わっているものでディスカッションを深めたい



- 支援を進めていくにあたりそもそもの根底として相談側の自己分析の必要性やその後の支援側のわかりやすい窓口やマップの必要性に気づけた
- 現在は海外展開から離れてしまった部分もあったが、人材の不足という面でも関われると感じ、それぞれの輸出希望事業者に対する人材側の支援を考えたい
- ブランディングやマーケティングなどの基礎は行政としても知識が必要であると感じる

Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（2/5）



- 各支援機関が輸出支援に向けた取り組みをしているものの見える化できていないことが分かった。本日のような情報共有ができる場は有効である
- 取引先へGFPの加入を進めていきたい
- 成功事例を事業者に語ってもらう機会を作っていただけると有難い。泡盛だけにとらわれず、沖縄らしい農産物の輸出の可能性を議論させていただきたい



- 私のチームでは泡盛に携わるメンバーが多く、泡盛を基に事例の紹介をしていただいた。その中で、皆様が抱えている課題・私の事業分野である畜産と重ねて課題を見つけることができた。
- 今回の塾を踏まえて一度、私たちから事業者へできる支援の紹介等を整理し、活かしていきたい
- 次回は自分の分野の課題やテーマを準備し参加したい



- 生産者・供給側の視点での意見や議論が多く良かった。自身がバイヤーと商談して得られた情報や経験を供給者にフィードバックしてみると新たなアイディアや行動に繋がるのではと感じた
- 商談で得られた情報等をもっと生産者に共有したい

Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（3/5）



- 様々な機関で同じような課題を抱えていると分かった。また、思いのほか他の機関の取組を分かっていなかった
- 相談案件について他の機関へ紹介したい
- 次回は輸出時によくある障害や失敗事例の共有、個別の事業について詳しく知りたい



- これだけ多くの機関があるがこれまで集まる機会がなかったことが不思議である
- 次回も出席したい
- 具体的にどのように各機関が連携を図るのか次回議論したい



- 他機関の方の視点や輸出者の課題を知ることができた。現地でのマーケティングに苦戦している事業者が多いと分かった
- 各行政機関同士の情報共有の場（Teamsグループなど）があると気軽に相談できて良い

Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（4/5）



- 各機関の立ち位置に応じた考え方を聞けてとてもよかった
- 議論を通じて新しい考え方を学んだ
- 今後も参加し視野を広げていきたい
- 次回は輸出のケーススタディを行いたい。また、それぞれのニーズをまとめた情報を知りたい



- 色々な支援機関の方々の取組が伺えて勉強になった
- 県内事業者の効果的な輸出拡大につながるための支援メニューを考えたい。イベント系は単発で終わってしまう
- 今後も支援メニューについて議論したい



- 新しいコンテナ技術の研究開発等を琉球大学で実施していること、県からの輸出に当たっては物流面が大きな課題であるため、解決できれば輸出拡大が期待できると感じた
- 輸送費の支援など関係部署や機関とのつながりができた
- 輸出の専門家による講義があると有難い

Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（5/5）



- 農林水産物の輸出には前提条件が多くかかわる人も多様であることを理解した。ところどころに足りないパーツもあるため今回のネットワークを活用したい
- 「農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄」につなげるテーマや案件があればいつでも対応します
- 生産規模の小さい沖縄の農林水産物を上手く輸出に繋げるための考え方や方法を議論したい



- 輸出手続き関連の人材が不足している実態を改めて認識した
- 自分たちは補助金でサポートしたい



- 様々な分野で活躍されている関係者の皆様と議論できる機会を提供いただき大変刺激になった
- 自身の業務では生産者と直接対話できる関係性があるので、今回出た議論を還元し、輸出に関する情報提供をしていきたい
- 第二回もぜひ参加したい

Copyright© 2023 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin. INC All rights reserved.